

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年5月17日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670600214号
法人名	有限会社 精祥
事業所名	グループホームはまゆう
所在地	鹿児島県阿久根市脇本6778-39 (電話) 0996-75-1122
自己評価作成日	平成23年3月1日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

- ・入居者様、ご家族様が安心できる生活の場を提供。
- ・気軽にいつでも訪問してもらえる雰囲気作り。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年3月29日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点 (評価機関記入)】

当ホームは、阿久根市郊外の自然豊かな環境に開設されており、玄関先には季節の花々が咲き利用者や訪問者の心を和ませている。利用者が快適に過ごせるようハード、ソフト両面に工夫している。地域連携・安全管理の記録や個別性のあるケアにつながる申し送り事項などのチェック表や報告書は詳細に書き込まれ、関係書類ごとにファイルされ管理者・職員がいつでも確認しやすいように事務所やリビングに置かれている。確認した職員は捺印やサインをし、管理者と職員が一体となり、利用者の立場に立ったサービス提供に取り組み、事業所の運営向上に活かしている。職員は2ユニットの全利用者の心身状況を把握し、定期職員会議では積極的に前向きな意見が出され、質の高い支援体制作りにつながっている。管理者は職員面談時などに出された職員の意見に柔軟に対応し運営に活かしている。運営者・管理者・職員が、それぞれ使命感を持ち、利用者、家族に安心して利用できる地域密着型のサービス提供を目指しているホームである。

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼時、職員全員で理念の意識付けを行いケアに取り組んでいる。	地域密着型サービスの目指す内容を事業所全員で話し合い、わかりやすい理念を作成している。利用者や家族にも理解と協力が得られるよう玄関、リビングにも掲示し、職員は日常的に唱和し、原点を振り返る機会としている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	日常的な交流は乏しいが、学生の職場体験、夏祭りへの参加、中学校運動会への参加等を行っている。また、散歩や地域へのドライブを実施し、地域との交流を行っている。	地域の学生の職場体験を受け入れ、利用者との交流を図ったり、中学校の運動会の見学をしたり、また地域の夏祭りにはハッピーを着て参加し、住民としての仲間意識づくりを図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	学生の職場体験学習及び医療従事者の研修受け入れを実施している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度実施し、市町村への報告を行っている。	地区長、民生委員、行政関係者、家族代表などの参加を得て2ヶ月に1回開催し、家族会も4月または5月初めに開き家族からの要望が運営推進会議に反映されるよう努力している。また家族会議は、運営状況だけでなく事故やヒヤリハットの事例も報告し、きめ細かい内容ある会議となっている。	

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>不明な点があれば電話や窓口で相談を行っている。</p>	<p>市担当者に事業所単独での判断が難しい事案の相談をしたり、介護について助言をもらうなど、利用者と家族へのサービスの質の向上につなげている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>毎月、身体拘束廃止委員会を開催し、意見交換を行い現場では施錠をせず自由に出入りできるようにしている。また、やむをえない場合は説明、同意を得ている。</p>	<p>安全対策として3ヵ所あった出入口を1ヵ所にし、鍵をかけず人感センサーでチャイムが鳴るように改良し、職員がさりげなく見守る体制ができています。また身体拘束の実施記録簿を作成し、ベッド柵を1本取り付けることでも、転落防止のために必要不可欠な措置なのかを検討し、安全で自由な暮らしが送れるよう管理者、職員で取り組んでいる。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>学習会を開催し虐待防止に努めている。ボディチェックの徹底も行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>学習会等での勉強を行い、職員がいつでも閲覧できるよう事務所内に挙げている。</p>		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	理解が得られるよう説明を実施し、同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会にて意見要望を頂いたり、面会時にお話したり、玄関に意見箱を設置し自由に書いて頂いている。	利用者の生活暦や趣味、本人の思いを家族と話し合い、意見や要望に対して管理者、職員は速やかに改善策を検討し、家族と信頼関係が構築できるように努め、運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談を行い各職員の意見、提案を聞き、反映できるよう検討している。	管理者、職員全員の参加のもと職員会議を開き、議事録も各職員の意見や提案が詳細に記載されている。欠席者は夜勤の時に確認し共有化を図っている。第2金曜日の勉強会や、2ユニット合同のレクリエーション開催は出された意見を反映したものである。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回の総括会議の場で事例発表や外部への研修または資格取得への学習会等実施している。		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の機会を設け、受講した職員が発表し伝える。また、新人研修、中堅研修等の取り組みも行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームでの研修等を行い刺激を受け施設作りに活かしている。</p>		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>フェイスシートの全職員の理解を深め、本人観察と寄り添いを重視し、不安軽減に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>面会時、ご家族様の要望等を聞き、より良い関係を築くため努力している。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様、ご家族様の傾聴に心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>調理、畑、シーツ交換等も一緒に行い共同生活の環境を作っている。</p>		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>定期的に便りを郵送して情報提供し、電話対応等での対応を行っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>外出の機会を設けている。ドライブ等にて地域の方と触れ合っている。</p>	<p>農業経験のある利用者も多く、好日には裏の畑で農作業を楽しんだり、事業所前の広大な畑の農作業を眺めたりしている。利用者の自宅近くへドライブに出かけ、昔なじみの方と面談したり、また季節に合わせ初詣、出水の鶴観覧、花見にと機会あるごとに外出し、なじみの関係の継続に積極的に取り組んでいる。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>できるだけ居間で過ごしていただき、他の入居者様との談話に努め、必ず職員が間に入り和をとっている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>行事の時の声かけや、いつでも相談を受ける体制や機会をみて訪問したりしている。</p>		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	食べ物の好き嫌いや入浴に関しても本人様の希望を優先し行っている。	日常生活の中で一人ひとりの言動や行動で意向の把握に努め、家族からの情報も考慮し、本人らしく生活が継続できるように支援している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	昔からの得意分野が活かせるよう生活の中に取り入れている。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックをはじめ、排泄、食事等のチェックを行いひとりひとりの現状把握に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様とご家族様の意見や要望を傾聴しチームで検討している。	利用者一人ひとりに担当者を決め基本情報シートの活用と毎月のモニタリング、3ヵ月に一回の評価で見直しの必要事項を検討し介護計画を作成している。シートは利用者のイラストが描かれ、どの職員が見ても身体状況や思いが把握できるように工夫されている。		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録の記入時、サービス内容がわかるよう工夫している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様、ご家族様の要望等に沿った支援を行っている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会との連携やご家族様の協力により、行事の取り組みを行い楽しんでいただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご希望の医療機関へ紹介状依頼できている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の継続受診が出来るように支援し、家族の都合が悪い場合は職員が同行受診し、家族に内容と結果を随時報告している。	

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々の健康管理を把握し、異状時には医療機関へ相談し、早期受診や往診の依頼を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>地域医療連携室との情報交換を常に行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族様、医師、施設で良い方法を検討し、チームで支援している。</p>	<p>重度化した場合や終末期のあり方については入居時に家族の意向を聞き、方向性を話し合い必要に応じて病院にも協力を依頼している。今後は家族との話し合いの内容を文書化したり同意書の作成も検討している。</p>	<p>家族との話し合いでの同意確認事項を文書化し、全職員で方針を共有し、より安心感のある支援を期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急連絡網を作成し、定期的に訓練している。</p>		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練や防火訓練を定期的に行い、地域の方にも参加してもらっている。</p>	<p>自主夜間想定訓練は2、3カ月に1回行い、また年に1回消防署、消防団の協力をもらい避難訓練を行っている。利用者の身体機能で避難の時間差がでるため、身体状況に応じた3段階のカラーシールを居室入り口に張ることで速やかに誘導できる対策も練られている。また非常持ち出し品も準備してある。</p>	<p>数日分の食料や水を備蓄することで、より良い安全対策がされるよう今後の取り組みに期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様ひとりひとりの性格を考慮し、プライドを傷つけないような対応を心がけている。	一人ひとりのこれまでの生活や、周りの方との関わりを尊重し、声かけに注意してプライドを傷つけない対応をしている。プライバシー保護についても接遇の研修を行い職員の意識づけを徹底できるように努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ひとりひとりの希望、要望等に対応し、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の動きや感情の変化に合わせた対応を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ビューティーヘルパーの提供や希望の美容室への送迎等を実施している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むきや後片付け等、一緒に行っている。	利用者の力にあわせて、手伝いをしてもらいながら調理している。誤嚥防止の口腔体操も行い、音楽を聴きながら食事を楽しんでいる。利用者の好みを把握し、食べやすい大きさや形に変えることで美味しく食べられる工夫をしている。食材の買物同行や自家菜園の収穫は一部利用者の楽しみにもなっている。	

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	好き嫌いのある方には別メニューで提供したり、殆どを居室ベッドで過ごされる方へは、訪室の度に補水を促している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で口腔ケアをされた方も確認を行い、介助に入り清潔保持できている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的にトイレ誘導を行っている。パットを使用される方は、その都度確認している。	一人ひとりの排泄チェック表を作成し、職員が排泄パターンを確認し定期的にトイレ誘導を行っている。自宅でのオムツ使用からパットに変わった利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘傾向の方については補水を定期及び積極的に実施している。		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入居者様の希望を第一に考え入浴を行っている。	利用者の希望を最優先し、入浴介助の支援をしている。入浴を嫌がる利用者には親しい方の後に入っていただく声かけをし、個々のパターンに合わせた支援となっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ひとりひとりの状況に応じて室温や明るさ等を変えて対応している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師よりその都度説明を受け、処方箋をひと目でわかる記録用紙に張り出している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ドライブ、カラオケ、台所仕事等ひとりひとりの好きな事等を把握し、毎日の支援に取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望時、一緒に出かけたり地域の仕事に参加できるように支援している。	天気の良い日は近所の散歩を楽しんだり、職員と一緒に買い物を楽しんだりしている。歩行困難な利用者も職員が積極的に支援し、車に乗せ地域に出かけている。	

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で財布を持っておられる方もあり、一緒に買い物へ行かれたりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望時、直接電話がかけられるよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>花やポスター等の季節感を取り入れている。</p>	<p>玄関は、チャイムで出入りを確認できる二重玄関となっている。共用空間のリビングは明るく、利用者が心地よく過ごせるように大きなソファも置いてある。洗剤等の収納は、利用者の目の届きにくい位置に設置、整頓され安全が確保されている。廊下には職員の手作り紙細工や年間行事に参加している利用者の写真などが貼ってあり、家庭的な雰囲気が保たれるよう至る所に工夫が見られる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>風除室の利用で思い思いに過ごされている。</p>		

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>安心して過ごして頂く為にご家族様より使い慣れた物の持ち込みをお願いし、提供している。</p>	<p>住み慣れた住まいの延長線であるように、使い慣れた家具などを持ち込み、それぞれ個性的な居住空間となっている。家族の写真や位牌を置いている利用者もいる。居室は明るく、全室に窓があり採光も良い。また利用者の希望でベッド、畳を使い分け居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自由に動いていただくため、危険箇所の点検を行い情報共有している。</p>		

**V アウトカム項目**

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームはまゆう 1ユニット

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない